

令和8年度第1回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会開催結果（概要版）

1 日 時： 令和8年7月16日（木） 16：30 ～ 17：30

2 開催形式： WEB 開催

3 出席委員： （◎：会長、○：副会長）

◎福島県立医科大学医学部小児科学講座	教授	郷 勇人
○福島県立医科大学医学部呼吸器内科講座	講師	鈴木 康仁
福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座	教授	室野 重之
公益財団法人 星総合病院 病院長補佐／小児科統括部長		佐久間 弘子
一般社団法人 福島県医師会	会長	石塚 尋朗
公益社団法人 福島県歯科医師会	専務理事	工藤 祐光
一般社団法人 福島県薬剤師会	会長	長谷川 祐一
公益社団法人 福島県看護協会	会長	佐藤 博子
福島県保健所長会（相双保健福祉事務所）	会員(所長)	安達 優真
福島県学校保健会	会長	石塚 尋朗
公益社団法人 福島県栄養士会	理事	黒岩 敏
いわき市アレルギーっ子交流会『もぐのび』	代表	緑川 琴江

4 議事概要

（1） 令和8年度福島県アレルギー疾患対策事業計画について

（ア）市町村における災害時のアレルギー疾患対策に関する実態調査について

福島県危機管理課と情報交換し、災害協定や市町村への取組依頼について確認する。（イ）啓発資材で記載できるようにするためにも、市町村への相談窓口を明確にする。今後もこのような調査を経時的に行うことを検討する。

（イ）備蓄の方法や必要性についての啓発資材について

アレルギーとわかるゼッケンやカードについて、ダウンロードできるページを当課のホームページに掲載し、啓発資材でもこのことを周知する。
アレルギー表示の画像を最新のものに更新する。

（ウ）災害時のアレルギー疾患対策における多職種連携の研修会について

実態調査の結果だけでなく、備蓄体制が整っている市町村に報告いただくことを検討する。実態調査では回答できなかった部分についても、情報収集し報告することを検討する。

（エ）市民講座について

成人の食物アレルギーをテーマに、山本委員に御協力いただけるか確認する。

（オ）民報新聞および民友新聞

花粉症をテーマに、室野委員に御協力いただくこととなった。

（3） 令和9年度アレルギー疾患対策事業計画（案）の方向性について

（ア）災害時の備蓄に関する成人向けの啓発資材

令和9年度は喘息に焦点を当て、喫煙との関連についても学ぶことができる啓発資材を作成することを検討する。

(イ) 平時から災害時のアレルギー疾患対策における研修について

講師を緑川委員に御協力いただくこととなった。アレルギー当事者サークル「あむあむ郡山」への講師依頼を検討する。

(ウ) 平時からのアレルギー疾患対策実践型研修について

対象は行政職員に限定する。各方部のアレルギー専門医と具体的な日程や内容について調整する。